

# 強度行動障害支援における 人材育成について

## 主な検討事項(案)

# 主な検討事項(案)

## 論点

強度行動障害を有する者の支援人材の育成・配置についてどのように考えるか

- (1) 十分な専門性を持って日常的な支援を担う「中核的人材」、高度な専門性を持って困難事例等に対する助言ができる「指導的人材」の育成
- (2) 「中核的人材」に対する「指導的人材」の支援体制の在り方、地域の中での配置、ネットワークの構築

「障害者総合支援法改正法施行後3年の見直しについて」令和4年6月13日 (1. 障害者の居住支援について より抜粋)

- ・グループホームにおいて、医療的ケア、強度行動障害、高次脳機能障害等の特性に対応できる専門性を持つ人材配置を推進するための方策について検討する必要がある。
- ・強度行動障害を有する者への支援に当たって環境調整が重要であることについて、施設長などの環境調整の権限を持つ者を含め支援者に伝わる方策を検討する必要がある。
- ・地域での受入が困難な強度行動障害を有する者への支援については、強度行動障害支援者養成研修の修了者に加え、適切な指導・助言ができる中核的人材の養成や外部機関による専門的助言の活用等、より専門性の高い人員体制を確保するための方策について検討する必要がある。

## (1)-1 十分な専門性を持って日常的な支援を担う「中核的人材」の育成

### (検討の視点の例)

- ・強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）は、それまで自閉症支援に携わったことのない人も受講しやすいよう構成されており、受講者数は広がってきている。  
※基礎研修 87,423人、実践研修 46,087人（2014-2020年実績）
- ・一方で、障害特性や支援の手順等の基本的な知識は獲得できたとしても、それらが実際の現場での支援実践に活かされにくい状況があり、更なる人材育成の重要性が指摘されている。
- ・強度行動障害支援者養成研修の内容を踏まえて、現場において適切な支援を実施し、組織の中で適切な指導・助言ができる人材が必要であると考えられ、その人材を「中核的人材」と位置づけ育成してはどうか。
- ・その際、「中核的人材」の育成方法について、どのように考えるか。
- ・また、「中核的人材」を育成する上で、現在の強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）の位置づけについて、どのように考えるか。

## 強度行動障害を有する者の支援人材の育成・配置をどのように考えるか

### (1)-2 (続き) 高度な専門性を持って困難事例等に対する助言ができる「指導的人材」の育成

#### (検討の視点の例)

- ・「中核的人材」が現場において適切な支援を実施することが重要であるが、それでも著しい行動障害が生じてしまった対応困難な事例について、現場の「中核的人材」等に対して指導助言(コンサルテーション等)が可能な専門性を有する人材を「指導的人材」と位置づけて育成してはどうか。
- ・その際、「指導的人材」が備えるべき専門性としてはどのようなものがあるか。

#### 専門性の例

- ・構造化
- ・保護者支援
- ・コーチング
- ・機能分析
- ・組織アプローチ
- ・アセスメント
- ・コミュニケーション支援
- 等

- ・また、「指導的人材」の育成方法についてどのように考えるか。

## 強度行動障害を有する者の支援人材の育成・配置をどのように考えるか

### (2) 「中核的人材」に対する「指導的人材」の支援体制の在り方、地域の中での配置、ネットワークの構築

#### (検討の視点の例)

- ・ 中核的人材に対して指導的人材が支援の指導助言（コンサルテーション等）を円滑に進めるための課題や方策等についてどのように考えるか。
- ・ 中核的人材や指導的人材について、強度行動障害者の支援に係る既存の資源（障害福祉サービス事業所等、計画相談、委託・基幹相談、地域生活支援拠点等、発達障害者支援センター〔発達障害者地域支援マネジャー〕等）を含め、どのような範囲（市町村、圏域、都道府県等）で、どの程度の人数の配置を想定するか。
- ・ また、各機関の連携、ネットワークの在り方をどのように考えるか。

近年の強度行動障害に関する調査・研究

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
厚生労働科学研究補助費				<p>福祉分野における強度行動障害支援の指導的人材養成のための専門研修プログラムの開発および強度行動障害の地域支援体制の在り方についての研究</p> <p>医療機関での入院における強度行動障害児者の専門プログラムの整備と地域移行に資する研究</p>		
障害者総合福祉推進事業	<p>強度行動障害児者に携わる者に対する体系的な支援スキルの向上及びスーパーバイズ等に関する研究</p>	<p>強度行動障害者に対する、コンサルテーションの効果と、指導的人材養成に関する研究</p>	<p>強度行動障害者支援に関する中核的な人材の養成に関する研究</p> <p>強度行動障害者の実態把握に関する調査</p>	<p>支援困難度の高い強度行動障害者の地域での受入促進へ向けた支援体制の推進等に関する調査研究</p>		

# 強度行動障害支援における人材育成の方向性（イメージ）

- 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）の内容を踏まえた支援を実施し、外部からの指導助言を活かしながらより安定した支援を定着させることで、予防的観点（行動障害を起こさない）で現場を支える人材を「**中核的人材**」として育成していく。
- また、強度行動障害者の支援について、現場の「中核的人材」等に対して困難ケースの指導助言（コンサルテーション等）が可能な専門性を有する人材を「**指導的人材**」として育成していく

